学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
地理歴史	世界史Ａ	２	２	なし

使用教科書	副読本等
新版世界史A新訂版（実教出版）	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
プリント		○				○		

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ プリント授業を中心に進めます。板書を写し、図や地図への書き込みなどのワークシートを完成させていきます。
・ さまざまな歴史的事象が起きる因果関係について考察を深める
・授業中の質疑何度も発問し、歴史的事項の理解の確認や、考える力を。

２．学習の到達目標

・人類の歴史の流れの中で、自分達の立ち位置を理解する。
・さまざまな歴史的事象がおきる因果関係について考える力を身につける。
・基本的人権・民主主義・平和を守り発展させる人材の育成

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的現象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や脚気を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	質疑応答・作文	定期考査・質疑応答	定期考査・ワークシート	定期考査・質疑応答

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	第１章　ユーラシアの諸文明と交流 東アジア世界の形成 東アジア世界の展開 東アジア世界の発展 モンゴル帝国と元 南アジア世界の形成 南アジア世界の展開	・ 漢字・儒教・仏教など生徒に身近な文化の起こりについて触れ、日本を含む中国を中心とする東アジア世界の特質をとらえさせる。 遊牧民の特質とその社会の発展を理解させる 南アジアの自然環境と諸民族、仏教成立・カーストなどに触れ、南アジア世界の特質を理解させる	○	○	○	○	ａ．東アジアの自然環境・文化等に関心を持ち意欲的に学習する。 ｂ．稲作・漢字・儒教・仏教など日本にもかかわりも深い文化について考察する。 ｃ．南アジアの仏教・カースト・ヒンドゥ教などの資料について考察し、その文化への理解を深める。 ｄ．東アジア・南アジアの歴史的な事項を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 ワークシート 発問評価 定期考査
5月 下旬 ～ 7月	オリエント世界の統一 地中海世界の形成 キリスト教の成立と発展 イスラームの成立 イスラーム帝国の分裂と多様化 ヨーロッパ世界の形成 ヨーロッパ世界の展開	オリエント・地中海の自然環境・民族・遺産に触れ、古代帝国の形成やキリスト教成立などについて把握させる。 イスラームの成立と発展に触れ、西アジアに成立した大帝国の特質を把握させる ヨーロッパの自然環境・諸民族・封建社会の成立、キリスト教の発展などに触れ、ヨーロッパ世界の特質を理解させる。	○	○	○	○	ａ．人類最古の文化への関心を高め、意欲的に追求している。 ｂ．ヨーロッパ文化の源流となったギリシア・ローマ・キリスト教への理解を深めた。 ｃ．資料を通してなじみの薄いイスラームの宗教や生活に関心を持ち、理解する。 ｄ．中世ヨーロッパ社会の歴史的事項と特質について理解し、その知識を身につけている。	発問評価 ワークシート 授業態度 定期考査
8月 下旬 ～ 10月 上旬	第２章　一体化に向かう世界と日本 ルネサンスと宗教改革 大航海時代 絶対王政の時代 西ヨーロッパ諸国の展開 東ヨーロッパ諸国の展開 近代ヨーロッパと世界貿易	ルネサンス・宗教改革・大航海が近代の出発点となったことを多角的に把握させる。 ヨーロッパで王権が強化され、主権国家体制が確立していくことを把握させる。一方、アジア各地に成立する大帝国についても触れ、繁栄するアジア各地の特質を理解させる	○	○	○	○	ａ．ヨーロッパ世界の拡大と王権強化について感心を高め、意欲的に追求している。 ｂ．ルネサンス・宗教改革・大航海の特質とその歴史的意義について把握する。 ｃ．資料を通して絶対王政の特質を理解する。 ｄ．ヨーロッパの世界貿易とアジア諸地域の繁栄について、基本的な事項を理解し、その知識を身につけている。	発問評価 ワークシート 授業態度 定期考査
10月 中旬 ～ 12月	第３章　ヨーロッパ・アメリカの諸改革と世界の変動 産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ナポレオンとウィーン体制 １８４８年の革命 １９世紀後半のイギリスとフランス １９世紀後半のイタリアとドイツ	欧米社会で起きた政治的・経済的変革について触れ、実力を蓄えた市民が基本的人権や人民主権といった民主政治の基礎を形成したことを把握させる。 １９世紀の欧米社会での国民国家成立について触れ、一方で欧米の進出によるアジア諸地域の動揺と改革についても理解させる。	○	○	○	○	ａ．資本主義社会の特質と諸問題発生について感心を持つ。 ｂ．市民革命により基本的人権・人民主権という民主政治の原理が成立したことを理解する。 ｄ．欧米の国民国家形成の過程について基本的な事柄を理解する。 ｃ．資料を通してアジア諸地域の動揺と改革の過程を、日本と比較しながら考察する。	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1月 ～ 2月	第４章　現代世界のあゆみ 急変する社会 第１次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制と国際関係 世界恐慌とニューディル ヒトラーとムッソリーニ アジア・太平洋戦争 国際連合と冷戦	帝国主義の時代が到来し世界が分割されていく過程を理解させ、やがて第一次大戦やロシア革命が勃発することを把握させる。 世界恐慌・ファシズムの台頭・アジア・アフリカでの民族運動の進展などに触れ、第二次世界大戦に至った経緯を把握させる。また、戦後の冷戦の展開と終結、Ａ・Ａ諸国の独立と課題等についても触れ、現在世界の課題について考察させる。	○	○	○	○	ａ．帝国主義による世界分割と第一次世界大戦前後の世界の動向について関心を持つ。 ｂ．世界恐慌から第二次世界大戦に至る世界の動向についての基本的事項を理解する。 ｃ．資料を通して第二次世界大戦のもたらした惨禍について考えさせる。 ｄ．戦後の世界についての基本的事項を把握し、地球的規模の課題について考察する。	ワークシート 授業態度 発問評価 定期考査